

E. 結論

健康日本 21 の目標達成のための効果的な歯科保健活動の状況を調査するために、成人期の歯周疾患状況の推移と歯周疾患検診の実施状況ならびに幼児期や学童期のう蝕予防および歯周疾患の継続的管理と関連する歯科診療所をベースとした歯科疾患予防実施の状況を調査した。

歯周疾患の罹患状態は、今回の定点観測から見る限り、進行した歯周疾患を有する者の割合は、6年間に30%以上減少しており、また40歳と50歳とでは減少の割合が異なっていたことも含め、健康日本21の目標を再考する必要がある。

一方、歯周疾患検診の実施状況は、徐々にではあるが増加してきているものの、都道府県格差は依然として大きい。しかし、自治体の規模別での分析から、小規模自治体で実施率が低く、このことを考慮した期待値で、各都道府県の取り組みを評価することもできた。さらに、小規模自治体のほうが、歯周疾患検診の受診率が高い傾向にあり、この観点から、さらに小規模自治体での歯周疾患検診を推進していく必要性が示唆された。

歯科診療所での歯科予防処置の実施状況は、一部の診療所が予防処置の大部分を行っていることが明らかになった。広く地域の歯科医療機関で予防管理を住民が受けることができる状況ではなく、今後、健康日本21の目標を達成するためには、歯科診療所における歯科疾患予防管理の普及を図っていく必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

1) 上原裕美子、寺嶋浩義、寺嶋利子、上杉知永、尾崎哲則：同一地域における歯周疾患検診の結果の年代別推移、第53回日本口腔衛生学会、盛岡、2004. 9

2) 尾崎哲則、市川裕美子、青山 旬、軽部裕子、福田雅臣、安井利一、末高武彦、宮武光吉：歯周疾患

検診市町村実施率の都道府県比較における試み、第53回日本口腔衛生学会、盛岡、2004. 9

3) 安藤雄一、深井稜博、青山 旬、尾崎哲則、宮武光吉：歯科診療質における予防処置および専門的口腔ケアの実施状況に関する全国実態調査、第53回日本口腔衛生学会、盛岡、2004. 9

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 定点観測地域での歯の状況の年次推移

40歳

	現在歯	健全歯	未処置歯	喪失歯	処置歯	補綴歯	要補綴歯
1997年	27.4	13.5	1.0	1.4	12.9	0.9	0.5
1998年	27.2	12.7	0.8	1.1	13.7	0.8	0.3
1999年	27.5	13.5	0.8	1.3	13.2	0.7	0.6
2000年	27.6	13.1	0.7	1.1	13.8	0.8	0.3
2001年	27.7	13.3	0.8	1.1	13.6	0.7	0.5
2002年	27.6	13.0	0.9	0.9	13.7	0.6	0.4
2003年	27.6	12.7	0.9	1.0	14.0	0.7	0.3

(mean)

50歳

	現在歯	健全歯	未処置歯	喪失歯	処置歯	補綴歯	要補綴歯
1997年	25.1	12.2	1.0	3.4	11.9	2.2	1.3
1998年	25.6	12.2	0.8	2.9	12.6	2.0	0.9
1999年	26.1	13.0	0.9	2.5	12.1	1.6	0.9
2000年	25.9	12.3	0.8	2.7	12.8	1.7	1.0
2001年	26.0	12.3	1.0	2.7	12.7	1.7	1.0
2002年	25.9	11.8	0.9	2.5	13.2	1.7	0.8
2003年	26.5	12.0	0.8	2.0	13.8	1.3	0.7

(mean)

図1 年代別、年度別進行した歯周疾患罹患状況

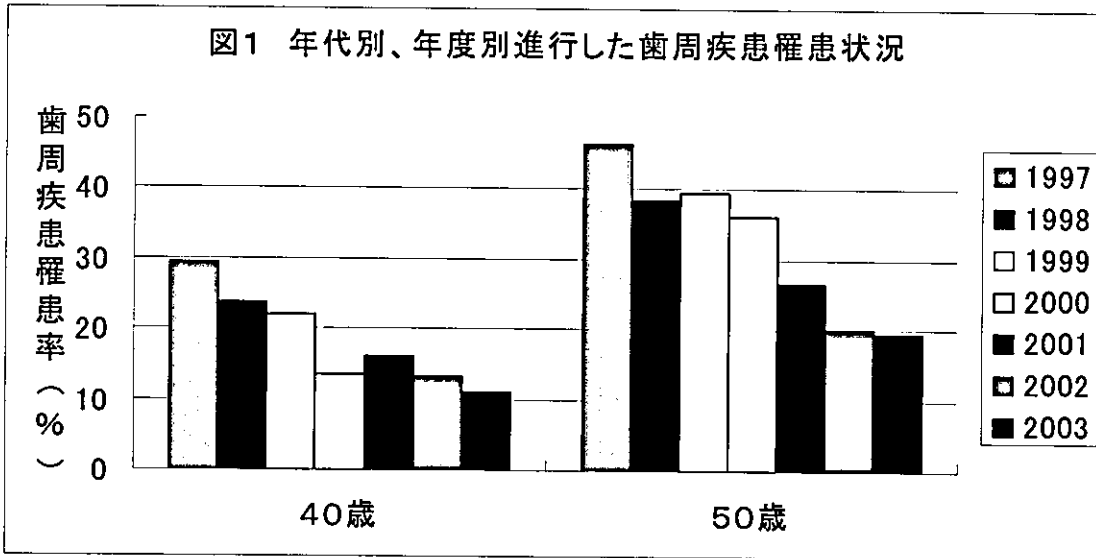


表2 老人保健法の基づく歯周疾患歯周疾患検診都道府県別実施区市町村率および期待値

都道府県	市区町村数	実施市町村	実施率	期待値実施率	実施率/期待値比
1 北海道	212	41	19.3	26.5	0.731
2 青森県	67	20	29.9	27.8	1.073
3 岩手県	58	28	48.3	30.6	1.579
4 宮城県	71	18	25.4	31.2	0.812
5 秋田県	69	19	27.5	28.2	0.976
6 山形県	44	13	29.5	31.9	0.927
7 福島県	90	24	26.7	28.0	0.953
8 茨城県	83	7	8.4	35.5	0.238
9 栃木県	49	10	20.4	35.2	0.580
10 群馬県	70	13	18.6	30.9	0.600
11 埼玉県	90	47	52.2	38.8	1.346
12 千葉県	80	28	35.0	36.3	0.965
13 東京都	62	31	50.0	52.0	0.961
14 神奈川県	37	18	48.6	43.7	1.114
15 新潟県	111	19	17.1	29.0	0.591
16 富山県	35	8	22.9	33.0	0.694
17 石川県	41	7	17.1	30.4	0.562
18 福井県	35	4	11.4	29.5	0.387
19 山梨県	63	19	30.2	26.3	1.145
20 長野県	120	38	31.7	27.0	1.171
21 岐阜県	99	42	42.4	27.8	1.527
22 静岡県	74	42	56.8	34.6	1.641
23 愛知県	88	63	71.6	37.9	1.890
24 三重県	69	16	23.2	29.8	0.778
25 滋賀県	50	20	40.0	31.4	1.275
26 京都府	44	13	29.5	32.2	0.917
27 大阪府	44	32	72.7	44.8	1.623
28 兵庫県	88	34	38.6	33.6	1.151
29 奈良県	47	21	44.7	30.4	1.472
30 和歌山県	50	48	96.0	28.2	3.400
31 鳥取県	39	7	17.9	25.5	0.703
32 島根県	59	10	16.9	24.9	0.682
33 岡山県	78	7	9.0	26.9	0.334
34 広島県	82	17	20.7	27.8	0.747
35 山口県	56	7	12.5	29.2	0.427
36 徳島県	50	12	24.0	26.6	0.903
37 香川県	39	16	41.0	30.9	1.327
38 愛媛県	70	4	5.7	27.6	0.207
39 高知県	53	6	11.3	25.0	0.454
40 福岡県	97	26	26.8	34.3	0.782
41 佐賀県	49	15	30.6	28.6	1.070
42 長崎県	79	14	17.7	26.2	0.676
43 熊本県	94	48	51.1	27.6	1.853
44 大分県	58	10	17.2	26.7	0.647
45 宮崎県	44	10	22.7	30.2	0.752

46	鹿児島県	96	32	33.3	27.3	1.221
47	沖縄県	52	7	13.5	29.9	0.450
全国		3235	991	30.6	30.6	1.000

図2 自治体人口規模別・保健所設置別の歯周疾患検診市町村実施率

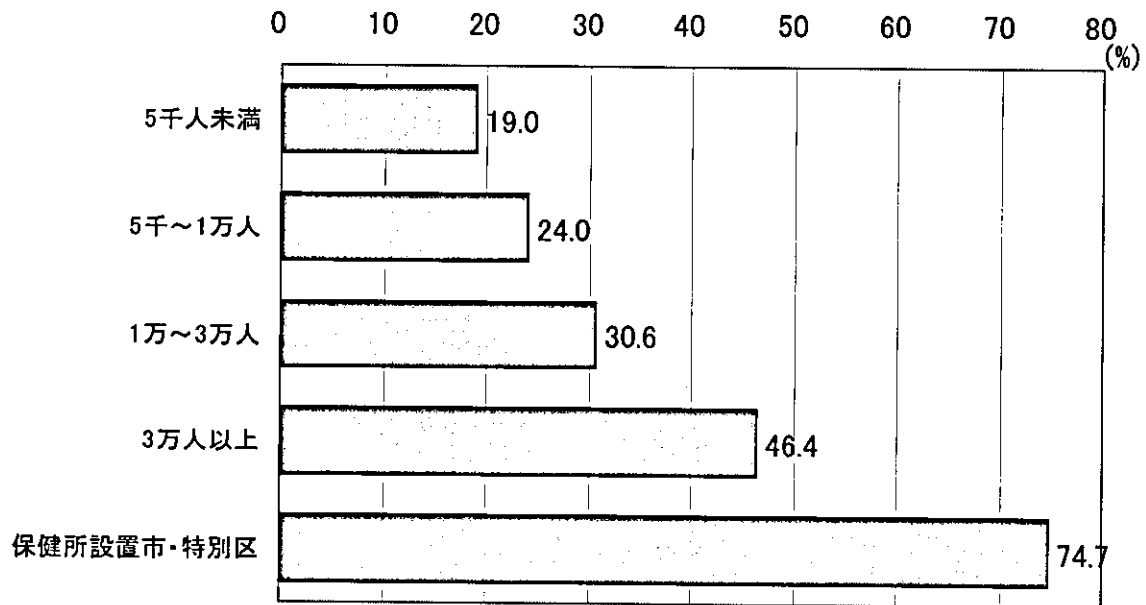


図3 自治体区分・人口規模別の歯周疾患検診受診率

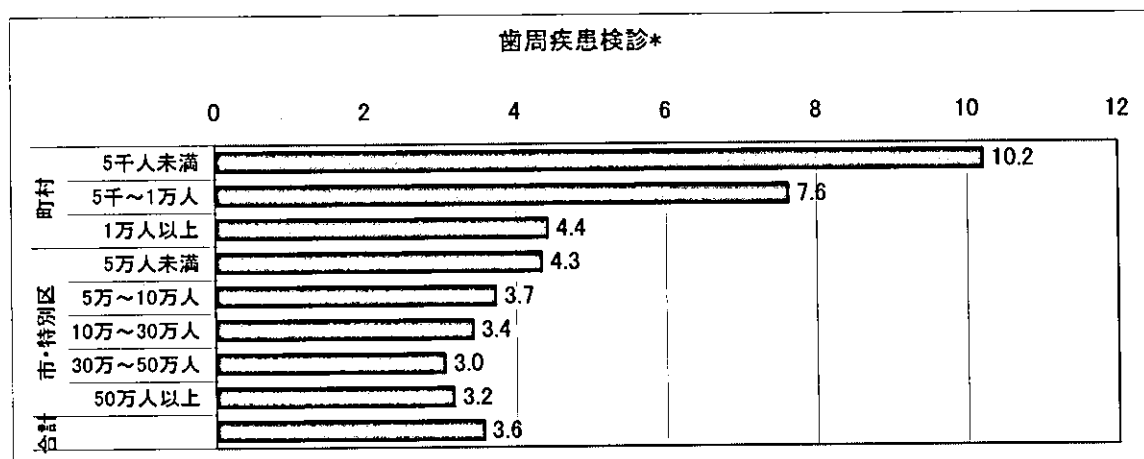


図4 自治体区分・人口規模別の胃がん検診受診率

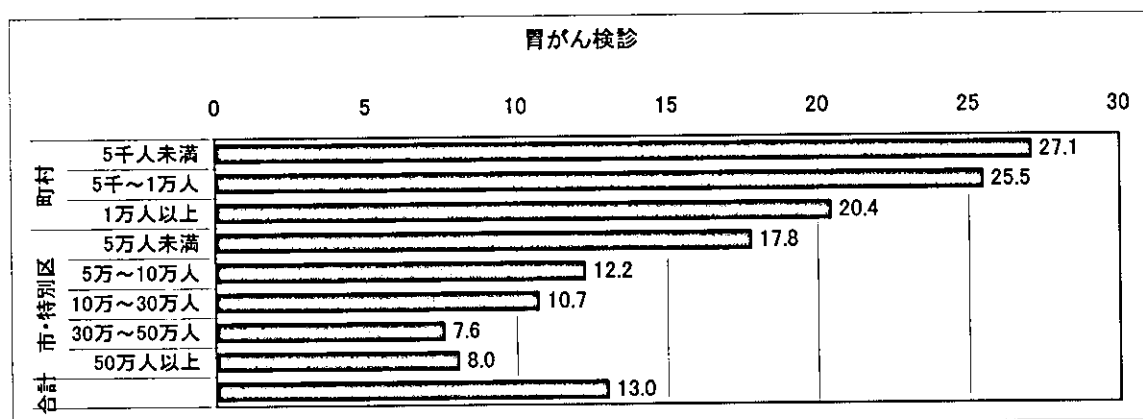


表3 各予防処置の実施状況

実施の有無 (1年間)	人数	実施 非実施	フッ化物 歯面塗布	フッ化 物洗口	シーラン ト	歯周疾患等の 予防管理	うち1年以上 の継続管理
			実施率 (%)	74.7	19.3	64.2	69.5
件数 (1週間)	有効回答	1994	1806	1897	1880	1719	
	平均	3.60	0.41	1.81	11.66	3.93	
	25%値	0	0	0	0	0	
	中央値	0	0	0	3	0	
	75%値	3	0	2	13	3	
	90%値	10	0	5	34	11	
最大値	139	94	61	478	323		

平成16年度 厚生労働科学研究費補助金（健康科学総合研究事業）

分担研究報告書

地方自治体における健康づくり

～「健康くらしき21」推進とその課題～

分担研究者 曾根 啓一（倉敷市保健福祉局／倉敷市保健所）

I. はじめに

第3次国民健康づくり運動は、「健康日本21」として策定され、都道府県版策定、そして市町村版策定へと裾野を広げている。今回の健康づくり運動の特徴は、国や都道府県が環境等の整備を支援し、市町村は住民と協働して健康づくりに取り組むということ、その際、地域特性を考慮して項目を設定し、それぞれに目標を立てるということである。多くの病は生活習慣を改めることにより発病に至らず、健康寿命の延伸に寄与し、結果としてその者にとっても社会経済的にみてもいいことである。以下、地方版「健康くらしき21」について、策定の経緯、地域住民への浸透努力（未だ「健康」である者へ健康づくりの講演やイベントへの参加を促すことは非常に難しいのであるが）及び成果等について述べる。

II. 「健康くらしき21」の策定経緯

少子高齢化の進行、生活習慣病の増加、寝たきりや早死の増加を課題に21世紀の国民の健康づくり運動である第3次国民健康づくり運動計画として国は平成12年に「健康日本21」を策定した。倉敷市では、少子化の進行する中、親と子が健やかに暮らせることを目指して「健やか親子21」を策定、包含した。

当時、倉敷市自身、政令市保健所の立ち上げの準備中で、「健康日本21」の地方版としての倉敷市の特性を生かした増進計画策定については、見送らざるを得ない状態であった。

しかし、平成15年5月に健康増進法が施行されることから、倉敷市保健所が設置された平成14年度に「健康くらしき21」健康増進計画策定に取り組んだのである。

以下、策定にいたる経緯について触れる。

1. 倉敷市福祉のまちづくり推進委員会に健康づくり推進部会を設置

(1) 倉敷市福祉のまちづくり委員会健康づくり推進部会等への説明

- ①平成14年6月 「健康くらしき21」策定方針の説明
- ②平成14年7月 保健福祉委員会（議会）で策定方針及び進め方について報告
- ③平成14年11月及び平成15年3月 健康づくり推進部会で策定経過報告
- ④平成15年4月 保健福祉委員会（議会）で策定経過、調査結果報告
- ⑤平成15年11月 健康づくり推進部会において素案を審議
- ⑥平成15年12月 保健福祉委員会（議会）において素案を審議

(2) 市民等の健康に関する意識調査の実施

- ①市民に対する意識調査（対象：20歳～64歳8,000人）
回収率36.5%（2,921人）
- ②倉敷市職員に対する意識調査（4,000人）
回収率70.3%（2,769人）
- ③産業保健圏内の者に対する意識調査（対象：従業員50人以上 302事業所）
回収率66.2%（200事業所）
- ④ボランティア団体に対する意識調査（対象：健康関連団体 197団体）
- ⑤子育て中の親に対する意識調査（対象：2歳児歯科健診の保護者 517人）
- ⑥思春期にある者に対する意識調査（対象：市内中学2年生 1,388人）

(3) 市役所内の策定研究班活動

計画策定に向け、市役所内全ての部署の職員30名が、市長から委嘱辞令を受け、策定に向けての研究活動を開始した（平成14年7月～16年3月）。

各種の意識調査結果や現状の分析から、21世紀の倉敷市がどうあるべきか、またそれを実現するためには、関係機関や団体、市民がどうするのか、検討した。

そして、「健康日本21」と同様、達成すべき目標、目標値について検討した。

さらに、健康づくり推進の観点から、「協働」を強く打ち出すべきであると考え、健康づくりについて考える機会として、あえてA班～E班に分けて会議を積み、目標値を立てていった。

- ① A班（栄養・食生活・歯）：12回
- ② B班（運動・休養・ストレス）：11回
- ③ C班（地域サポートネットワーク）：16回
- ④ D班（社会資源調査）：11回
- ⑤ E班（健やか親子）：21回
子育てを語る会：4地区22回（参加団体23団体、延229人）

(4) 市民ワークショップの開催

研究班による「健康くらしき21」策定素案をもとに、市民と研究班との間で、健康づくりの啓発の方法及びこれからの倉敷市の健康づくり活動のあり方について話し合った（各地区4回開催 参加人数164人）。

2. 「健康くらしき21」の特徴と倉敷市らしさを出すための創意工夫

(1) 構成

- ①「健康くらしき21」策定書の骨格は職員の手作りとする
中核市に移行したことで、市職員の企画立案能力の向上をも目指し、手作り作成を確認しあった。
- ②市民に見て、読んでもらうために創意工夫する
イラストや台詞を多く取り入れ、どのページからでも誰もが関心をもって読めるように、工夫した。
- ③問題提起型とする

7年先を見据えての策定書であることから、協働の視点での目標値の設定など、常に市民や関係団体等と、協議を重ねていけるよう問題提起型とした。

④基本理念

「くらしき行革21」の基本理念から、協働・成果重視（評価、市民満足度）の視点に力点を置いた。

(2)「健康づくり」の基礎資料からみた倉敷市の特徴

①倉敷市は平均寿命が全国の上位

倉敷市の平均寿命は、全国平均を上回り、中核市の中でも上位に位置している。

また、健康に関するデータを全国平均と比較しても、目だって劣っている項目は認められなかった。

②上昇傾向にある健康阻害因子

しかしその中で、早生（早死）、肥満、歯周疾患、児童虐待、要介護認定者が増加傾向にあり、これらを倉敷市の健康寿命の延伸を阻害する因子として捉え、対策を講ずべき課題とした。

なお、現状分析から「早生（早死）」、「肥満」を課題として取り上げている自治体は多く見られる。しかしながら、「歯」を課題の一つとして取り上げているのは、全国でも少数で、倉敷市の特徴といえるかも知れない。

③「健やか親子」

少子化傾向にあつて、児童虐待の急増が見られる。親子が心身ともに健康に成長できることを願って、「健康くらしき21」に「健やか親子」を盛り込んだ。

子育てを語る会を市の構成4地区において、研究班員と市民とで、子育てをめぐる現状分析や目標、目標値について話し合いを重ねた。人間関係が希薄になった地域の力を今一度再構築し、地域のみんなで子どもを育てることが肝要であることを再認識し、ともにあるべき姿を目指した。話し合いの中で、倉敷市を構成する以下の4地区の特性が明らかになっていった。

(i) 倉敷地区：核家族化が進行していて、子育てを専業にしている母親が多い。子育てに関するボランティアグループ（親子クラブ）は多くあり、活動が活発であるが、しかし参加者は少ない。

(ii) 水島地区：複雑な家庭が他の地区よりも多く、母子家庭も多い。重度の児童虐待件数が多い。地域での子育てサポート力が弱いといえる。

(iii) 児島地区：従来型の町内会の機能を多く残し、3世代家族も多い。また、働く女性が多いことから、保育園の入所率が市内で最も高い。

(iv) 玉島地区：兼業農家が多く、3世代家族も多い。外食よりも家庭での食事頻度が高く、団欒の機会も多い。

Ⅲ. 分野別の取り組み

1. 健康全般について

(1) 策定に至った経緯

策定に至った経緯については先に触れたが、より具体的に現状と課題について述べてみたい。高齢化による寝たきりや認知症は加齢によって増加し、深刻な問題となっている。倉敷市の平均寿命は全国の上位であるが、健康寿命をみると男性で2年、女性で5年の要介護状態がある。これも全国平均よりも良いが、健康寿命をより平均寿命に近づけることが重要になってくる。介護保険の利用者は全国平均に比べ高くなっており、従前の早期発見・早期治療といった「二次予防」に加え、健康をつくり、疾病を予防する「一次予防」にも重心を置

く必要がある。

そのためには、健康をつくるのがいかに大切であるのかより多くの人に実感してもらうことが大切である。すなわち、健康について話題にする頻度が増えるようにすること、健康づくりに取り組む人が増えることが究極の到達点であるが、そうなるような啓発の方法、いかなる環境整備が必要であるのかを念頭に置き、目標を立て、目標値を設定した。

(2) 目標及び目標値

①「健康づくり」への意識向上

(i) 「健康日本21」(「健康暮らしき21」の読み替え)を知る者の増加

(ii) 健康に関するアンケート回収率の増加

②いつでも・どこでも・誰でも健康づくり

(i) 健康づくりに気軽に取り組めるとする者の増加

(ii) 健康づくりを継続している者の増加

(iii) 健康診断を受ける者の増加

(iv) 自分のコレステロール値を知っている者の増加

(v) 暮らしき健康福祉プラザの「健康づくり事業」を知っている者の増加

(vi) 自分の健康について考える者の増加

(3) 取り組みと評価

①「健康づくり」への意識向上

(i) 普及啓発

ア. 保健所だより(健康ガイド)の全戸配布

イ. マスコットキャラクター、愛称、標語の募集

ウ. 「いきいきふれあいフェスティバル」健康暮らしき21コーナー

エ. ボランティアウォーキング大会の開催 200人

オ. 「瀬戸内ツーデーマーチ」への参加

カ. 「健康暮らしき21」ダイジェスト版作成

キ. ボランティアワン祭

ク. 「健康ウォーキングマップ」の作成

ケ. 「健康暮らしき21」出前講座

コ. 「市民の声アンケート」の実施

サ. 健康福祉プラザでの「ヘルスチェック(メディカルチェック)」の実施

(ii) 成果

ア. 保健所だより(健康ガイド)の全戸配布 17万世帯配布(愛育委員)

イ. マスコットキャラクター、愛称、標語の募集

マスコットキャラクター、愛称「健康くらちゃん」決定

標語

「明日じゃなく 今日からはじめる 健康づくり」

「今日も健やかまた一步 めざす私の目標値」

「健康で我が家はいきいき 家族の輪」

ウ. 「いきいきふれあいフェスティバル」健康くらしき21コーナー
平成16年11月7日(日) 10:00~15:00 福田運動公園
5万人参加

エ. ボランティアウォーキング大会の開催

平成16年11月21日(日) 9時30分~16時(9キロ) 200人参加

オ. 「瀬戸内ツーデーマーチ」への参加

カ. 「健康くらしき21」ダイジェスト版作成

キ. ボランティアワン祭 健康くらしき21コーナー

平成17年3月20日(日) 10:00~16:00

くらしき健康福祉プラザ 600人

分野ごとのコーナーを開設

ク. 「健康ウォーキングマップ」の作成

ケ. 「健康くらしき21」出前講座

関係団体等 25回 600人

コ. 「市民の声アンケート」の実施(公聴広報課)

目標の中に「健康づくりに気軽に取り組んでいると感じる人の増加」を掲げたが、実態把握ができていないことから、「市民の声アンケート」を実施した。

日頃から、「健康に関して何かしているか」について、約半数の47%の人が「はい」と答えた。しかし、積極的でない人も半数を超えている。

男女別では、女性の方のポイントが高くなっている。また、年代別では、高齢になるほどその割合が高くなっている。

サ. 健康福祉プラザでの「ヘルスチェック」の実施

プラザの健康づくり事業の対象者は、健康診査を受診した結果要指導等となった者で、その際健康プログラムを有効かつ安全に実施するためにヘルスチェック(メディカルチェック)を行う。

(調査項目)

- ・生活習慣調査(生活習慣、運動、休養、自覚症状、食習慣、ストレス等)
- ・食生活調査(生活活動強化、食物摂取頻度)
- ・体力測定(身長、体重、体脂肪、運動負荷テスト等)

年間約1,000人

(iii) 課題

「健康日本21」に対する市民の認知度は、平成14年度に5%であった。平成15年度には8%で前年より若干上昇したが、依然として低い数値である。

平成16年11月にマスコットキャラクター「健康くらちゃん」が決まり、それをもとに視覚的なPRも含めてさらに積極的に進めていく必要がある。

② 「いつでも・どこでも・誰でも健康づくり」

(i) 内容

ア. 老人保健事業等による健康診査の実施

- ・基本健康診査
- ・各種がん検診

- ・肝炎ウイルス健診
- ・婦人の健康診査

イ. 健康教育と健康相談の実施

ウ. 倉敷市児島支所における「健康くらしき21」の取り組み

エ. 各地区におけるミニ健康展の開催（愛育委員活動）

健康づくりのボランティアとして、愛育委員会という組織がある。小学校区等を単位として、そこに住む市民を対象に母子保健、健康づくり事業、高齢者支援等を地区の特性を生かしながら展開している。

その自主的な健康づくりの普及啓発事業として、平成元年から国民健康保険の支援（予算）を得て、地域住民が参加しやすい公民館等でミニ健康展を開催している。

(ii) 成果

ア. 老人保健事業等による健康診査の実施（表1-1～1-5、資料1～5）

- ・基本健康診査
- ・各種がん検診
 - 胃がん検診
 - 大腸がん検診
 - 子宮がん検診
 - 乳がん検診
 - 肺がん検診
 - 前立腺がん検診
- ・肝炎ウイルス健診
- ・婦人の健康診査

表1-1 基本健康診査

区分		健康診 対象者	受診者数						
			集団検診	医療機関	訪問診査	介護家族 訪問診査	計		
年度									
	13	91,300	5,040	26,510	363	37	31,950		
	14	95,000	2,619	29,546	426	38	32,629		
	15	100,100	2,667	32,301	451	36	35,455		
年齢区分	(内訳)	男	40～49歳	4,500	37	240	-	-	277
			50～59歳	6,800	74	520	-	-	594
			60～69歳	15,800	598	2,131	11	5	2,745
			70歳以上	18,100	3	7,844	136	6	7,989
	女	40～49歳	4,300	212	1,007	-	1	1,220	
		50～59歳	9,100	647	2,300	1	1	2,949	
		60～69歳	18,100	1,082	4,962	11	11	6,066	
		70歳以上	23,400	14	13,297	292	12	13,615	
地区	倉敷	44,590	1,197	13,692	92	5	14,986		
	児島	19,950	522	6,767	158	22	7,469		
	玉島	16,760	506	5,463	57	4	6,030		
	水島	18,800	442	6,338	144	5	6,929		
	その他	-	-	41	-	-	41		

表1-2

区分		肥満判定					血圧					
		A	B	C	D	E	正常域	軽症 高血圧	中等度 高血圧	重症 高血圧		
年度												
	13	3,327	5,479	16,572	3,899	2,551		
	14	3,496	5,737	16,862	3,834	2,504	19,254	9,957	2,822	595		
	15	3,771	6,244	18,437	4,220	2,567	21,340	10,708	2,833	570		
年齢区分	(内訳)	男	40～49歳	40	53	135	25	24	225	37	11	4
			50～59歳	100	139	284	45	26	400	142	42	10
			60～69歳	391	658	1,400	217	72	1,698	793	209	43
			70歳以上	947	1,466	4,040	899	579	4,554	2,597	690	148
	女	40～49歳	120	127	589	244	140	1,114	82	21	3	
		50～59歳	273	446	1,564	452	211	2,199	602	121	27	
		60～69歳	595	1,082	3,469	648	265	3,905	1,677	422	62	
		70歳以上	1,305	2,273	6,956	1,690	1,250	7,245	4,778	1,317	273	

表1-3

年度	区分	検尿陽性者			肝機能		
		糖	蛋白	潜血	GOT異常	GPT異常	γ-GTP異常
13		1,246	2,301	6,470	1,579	1,772	4,520
14		1,209	2,534	6,869	1,731	1,868	4,431
15		1,302	2,548	7,469	1,752	1,944	4,683
	(内訳)						
	男						
	40～49歳	7	17	23	20	50	71
	50～59歳	23	26	48	36	82	157
	60～69歳	156	169	291	211	290	630
	70歳以上	525	851	1,156	528	507	1,144
	女						
	40～49歳	8	18	250	23	34	89
	50～59歳	40	74	652	93	168	407
	60～69歳	110	222	1,458	210	304	807
	70歳以上	433	1,171	3,591	631	509	1,378

表1-4

年度	区分	クレアチニン異常	総コレステロール		HDLコレステロール異常	中性脂肪異常	貧血検査			血糖異常 空腹時
			高値異常	低値異常			RBC異常	Hb異常	Ht異常	
13		2,646	11,107	396	3,690	7,943	7,537	6,704	4,852	2,104
14		2,053	11,280	454	4,157	8,215	7,663	6,882	5,152	2,526
15		1,534	15,943	1,516	3,517	8,719	7,735	8,838	4,966	2,965
	(内訳)									
	男									
	40～49歳	5	147	9	53	99	35	40	14	19
	50～59歳	16	320	32	69	195	82	97	42	67
	60～69歳	60	1,516	123	377	882	398	616	241	316
	70歳以上	461	3,311	781	1,489	2,035	2,119	3,467	1,809	903
	女									
	40～49歳	7	322	47	22	109	171	281	180	25
	50～59歳	27	1,662	30	65	588	355	272	160	154
	60～69歳	72	3,252	57	264	1,495	868	595	332	446
	70歳以上	886	5,413	437	1,178	3,316	3,707	3,470	2,188	1,035

表1-5

年度	区分	心電図異常	ヘモグロビンA1c検査		判 定 区 分				
			受診者数	異 常	異常なし	要観察	要再検	要精検	要医療
13		7,426	31,940	3,211	3,422	5,687	4,627	3,137	15,077
14		7,637	32,623	3,706	2,964	5,719	4,887	3,129	15,930
15		8,588	35,422	11,391	2,880	5,833	5,247	3,312	18,183
(内訳)									
男	40～49歳	28	277	39
	50～59歳	87	594	147
	60～69歳	616	2,745	877
	70歳以上	2,594	7,981	2,879
女	40～49歳	71	1,219	149
	50～59歳	303	2,947	698
	60～69歳	983	6,065	1,839
	70歳以上	3,906	13,594	4,763

資料1 胃がん検診

年度	区分	受診者				異常なし	要精検		精検受診者数	精検受診率(%)	がんであった者	
		集団検診	保健所	医療機関	計		人数	率(%)				
13		3,919	7	8,863	12,789	7,964	1,672	13.1	1,379	82.5	24	
14		3,319	66	10,343	13,728	8,372	1,673	12.2	1,294	77.3	27	
15		3,192	72	12,193	15,457	9,529	1,791	11.6	1,292	72.1	30	
(内訳)												
年齢区分	男	40～49歳	25	5	137	167	...	21	12.6	14	66.7	1
		50～59歳	72	3	285	360	...	49	13.6	27	55.1	3
		60～69歳	536	16	1,116	1,668	...	209	12.5	148	70.8	4
		70歳以上	320	-	2,857	3,177	...	493	15.5	352	71.4	9
	女	40～49歳	142	9	524	675	...	70	10.4	52	74.3	-
		50～59歳	548	21	999	1,568	...	123	7.8	90	73.2	2
		60～69歳	1,114	18	2,192	3,324	...	279	8.4	213	76.3	3
		70歳以上	435	-	4,083	4,518	...	547	12.1	396	72.4	8
地区	倉敷	1,587	61	5,580	7,228	4,593	822	11.4	565	68.7	10	
	児島	820	2	2,673	3,495	2,304	306	8.8	232	75.8	6	
	玉島	536	3	1,303	1,842	845	338	18.3	233	68.9	7	
	水島	248	6	2,623	2,877	1,778	324	11.3	261	80.6	7	
	その他	1	-	14	15	9	1	6.7	1	100.0	-	

資料2 子宮がん検診

年度	区分	健康診査 対象者数	受診者			子宮頸部(検査結果)						
			集団 検診	医療 機関	計	I	II	IIIa	IIIb	IV	V	
13		55,000	1,105	5,076	6,181	1,146	5,004	20	8	1	2	
14		57,600	483	5,903	6,386	1,329	5,022	26	6	-	3	
15		60,100	490	6,646	7,136	1,701	5,388	38	5	2	2	
(内訳)	年齢区分	30~39歳	5,200	56	1,543	1,599
		40~49歳	4,300	55	1,068	1,123
		50~59歳	9,100	137	1,198	1,335
		60~69歳	18,100	205	1,559	1,764
		70歳以上	23,400	37	1,278	1,315
地区	倉敷	27,110	251	2,903	3,154	863	2,271	16	3	-	1	
	児島	12,000	130	1,117	1,247	162	1,077	7	-	1	-	
	玉島	9,930	73	960	1,033	136	890	5	1	-	1	
	水島	11,060	36	1,658	1,694	538	1,144	10	1	1	-	
	その他	-	-	8	8	2	6	-	-	-	-	

年度	区分	子宮体部			要精検者数	精検 受診者数	精検受診率 (%)	がんで あった者	
		陰性	疑陽性	陽性					
13		54	2	-	35	30	85.7	-	
14		80	2	1	38	29	76.3	3	
15		68	2	-	49	41	83.7	4	
(内訳)	年齢区分	30~39歳	22	18	81.8	3
		40~49歳	7	4	57.1	-
		50~59歳	12	11	91.7	-
		60~69歳	2	2	100.0	-
		70歳以上	6	6	100.0	1
地区	倉敷	12	2	-	22	18	81.8	2	
	児島	15	-	-	8	6	75.0	2	
	玉島	18	-	-	7	5	71.4	-	
	水島	21	-	-	12	12	100.0	-	
	その他	2	-	-	-	-	-	-	

資料3 乳がん検診

年度	区分	受診者数	異常なし	要精検		精検受診者数	精検受診率 (%)	がんであった者	
				人数	率(%)				
13		8,734	8,366	368	4.2	325	88.3	17	
14		7,774	7,353	421	5.4	348	82.7	13	
15		8,689	8,111	578	6.7	460	79.6	26	
(内訳)	年齢区分	30~39歳	1,248	1,099	149	11.9	111	74.5	-
		40~49歳	958	861	97	10.1	79	81.4	5
		50~59歳	1,357	1,291	66	4.9	47	71.2	1
		60~69歳	2,074	1,972	102	4.9	87	85.3	11
		70歳以上	3,052	2,888	164	5.4	136	82.9	9
地区	倉敷	3,669	3,436	233	6.4	182	78.1	12	
	児島	1,083	977	106	9.8	81	76.4	6	
	玉島	1,387	1,291	96	6.9	70	72.9	2	
	水島	2,538	2,396	142	5.6	126	88.7	6	
	その他	12	11	1	8.3	1	100.0	-	

資料4 肺がん検診

年度	区分	受診者		要精検		精検受診者数	精検受診率 (%)	がんであった者		
		胸部レントゲン	喀痰	人数	率(%)					
13		28,938	709	39	0.1	35	89.7	-		
14		28,308	741	35	0.1	19	54.3	4		
15		28,022	735	43	0.2	24	55.8	1		
(内訳)	年齢区分	男	40~49歳	382	7	-	-	-	-	
			50~59歳	730	54	1	0.1	1	100.0	-
			60~69歳	3,522	298	9	0.3	6	66.7	-
			70歳以上	3,971	305	14	0.4	7	50.0	-
		女	40~49歳	2,310	3	-	-	-	-	-
			50~59歳	4,770	15	1	0.0	-	0.0	-
			60~69歳	6,988	34	9	0.1	6	66.7	1
			70歳以上	5,349	19	9	0.2	4	44.4	-
地区	倉敷	12,281	417	17	0.1	7	41.2	-		
	児島	5,669	45	9	0.2	8	88.9	-		
	玉島	6,205	153	13	0.2	6	46.2	-		
	水島	3,859	120	4	0.1	3	75.0	1		
	その他	8	-	-	-	-	-	-		

資料5 大腸がん検診

年度	区分	受診者			異常なし	要精検		判定不能	精検受診者数	精検受診率(%)	がんであった者	
		集団検診	医療機関	計		人数	率(%)					
13		1,172	14,518	15,690	13,882	1,760	11.2	48	1,168	66.4	32	
14		1,182	16,586	17,768	15,774	1,933	10.9	61	1,369	70.8	49	
15		1,178	18,345	19,523	17,402	2,077	10.6	44	1,261	60.7	39	
(内訳)	男	40~49歳	15	150	165	...	10	6.1	...	6	60.0	-
		50~59歳	40	344	384	...	29	7.6	...	17	58.6	2
		60~69歳	243	1,306	1,549	...	170	11.0	...	111	65.3	2
		70歳以上	84	4,318	4,402	...	620	14.1	...	390	62.9	18
	女	40~49歳	73	627	700	...	57	8.1	...	34	59.6	1
		50~59歳	238	1,427	1,665	...	122	7.3	...	75	61.5	1
		60~69歳	420	3,030	3,450	...	291	8.4	...	199	68.4	2
		70歳以上	65	7,143	7,208	...	778	10.8	...	429	55.1	13
地区	倉敷	544	7,558	8,102	7,249	836	10.3	17	488	58.4	12	
	児島	177	4,163	4,340	3,806	533	12.3	1	331	62.1	10	
	玉島	232	2,387	2,619	2,371	245	9.4	3	131	53.5	5	
	水島	223	4,218	4,441	3,958	460	10.4	23	310	67.4	12	
	その他	2	19	21	18	3	14.3	-	1	33.3	-	

イ. 健康教育と健康相談の実施（表2）

表2 健康教育

年 度		開 催 回 数 (回)	被指導延べ人数 (人)	
13		740	21,938	
14		578	22,359	
15		652	17,284	
(内 訳)	倉 敷	209	8,922	
	児 島	27	790	
	玉 島	68	2,722	
	水 島	348	4,850	
(再掲)	歯 周 疾 患	14	623	
	骨 粗 しょう 症	14	518	
	病 態 別	89	2,997	
	薬	1	23	
	一 般	522	12,996	
介 護 家 族 健 康 教 育		12	127	
(再掲)	生活習慣病予防教室	20	243	
	地 区	倉 敷	5	90
		児 島	5	91
		玉 島	5	20
		水 島	5	42

ウ. 倉敷市児島支所における「健康くらしき21」の取り組み

児島支所において「健康くらしき21」推進連絡会（市民課・保健介護課・福祉事務 所・建設課・産業課）を設置する。平成16年度の健康づくりのテーマを「エレベーターを使わない」とし、全庁職員をあげて取り組む。「健康くらしき21だより」を発行するなど、職員一人ひとりの健康増進の意識向上と行動変容を図った。

平成17年2月、1年間を振り返るために職員アンケートを実施したところ、各個人目標の達成について「大変よくできた、まあまあできた」が65.9%であった。また課目標について「大変よくできた、まあまあできた」が67.1%であった。

特に、平成16年8月の児島地区を襲った台風による高潮被害で、保健師を含め支所職員はその対応に追われ、精神的ゆとりがなくなる中で、健康目標実践は困難であった。

しかし、各課推進員が健康について声かけをすることで、この取り組みが中断することなく継続につながった。

このことは、ゆとりのない時であるからこそ、健康に関する啓発の必要性を感じた職員が多かった結果といえる。健康づくりに関わる課だけでなく、職員一致してアイデアを出し合うことや、取り組んでいくことの大切さを感じた。

また、このことを市民総ぐるみ運動に展開させたい。

エ. 各地区におけるミニ健康展（愛育委員会活動）の開催（表3）

表3 平成16年度ミニ健康展実施報告

(倉敷地区)

学区名	テーマ	開催月	入場者総数
中庄	明るく楽しく健康づくり	11	300
大高	守ろう みんなの健康	7	109
中州	みんなの健康・家族の幸せ	11	112
西阿知	地域みんなの健康	12	93
西	いきいき西学区	1	110
粒江	健康で豊かな人生を送るために	12	300
庄	健康長寿の為に	11	250
天城	心と体の健康	10	200
万寿東	免疫力をアップさせよう!	10	105
老松	私の健康は私から	10	200
帯江	生活習慣病予防	12	127
葦高	地域の健康はみんなの手で	7	175
万寿	生活習慣病予防	6	150
茶屋町	地域の健康作り	11	327
菅生	元気で明るく長生きするために	11	450
豊洲	親子で健康づくり	7	218
合計			3226

(児島地区)

学区名	テーマ	開催月	入場者総数
郷内	筋肉について	10	210
本庄	本庄健康フェア(ミニ健康展)	9	
琴浦	筋肉と筋力	10	112
味野	楽しく歩いて健康に	11	198
小川	健康な生活を送るためには	2	101
由加	筋力の貯筋・心の健康	11	34
上の町	糖尿病予防	11	64
稗田	歯の健康	11	81
琴東	地域の人とふれあう会	12	110
合計			910

(玉島地区)

学区名	テーマ	開催月	入場者総数
上成	健康増進に関心を持つ糖尿病の予防	3	99
長尾	生活習慣病予防～「健康くらしき21」にもとづいて	11	50
富田	富田地区ミニ健康展	10	500
八幡	ミニ健康展	11	121
黒崎	元気で健やかな身体で長生き出来るよう	2	54
柏島	みんなでしようや!健康づくり	10	80
乙島	楽しく健やかに	9	96
穂井田	地区住民の健康づくり	10	150